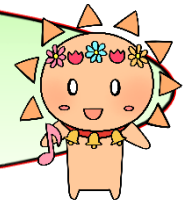


# めざせ太陽の子



e-mail アドレス younan-es@tym.ed.jp

HP アドレス <http://www.younan-e.tym.ed.jp/>

令和5年度も、残り1か月となりました。学校では、卒業を祝う週間が始まっています。週間中は、6年生との思い出をつくろうと、各学年が企画して一緒にゲーム等をする活動を予定しています。6年生へお祝いのメッセージを書いたり、廊下や階段の踊り場を華やかにする飾り作りに取り組んだりもしています。3/6に行う卒業を祝う集会に向けては、5年生が中心となって各学年との連絡、調整を行っています。集会の運営や進行等がうまくいくか、5年生はときどきわくわくしながら準備を進めているところです。今年は、全保護者の方も参観ができますので、ぜひ学校に足をお運びください。

卒業を祝う取組や活動を通して、1~5年生は6年生の卒業を祝う気持ちを高めるとともに1つ学年が上がることへの自覚をもつこと、6年生は下級生の温かい気持ちを励ましとして、中学校進学への前向きな気持ちがもてることを期待しています。



## 来年度入学生の体験入学

2月15日(木)

来年度入学予定の年長児を招待して、1年生と一緒に楽しい集会をしました。6名の1年生はこの会に向けて、「こうしたら年長児さんが楽しんでくれるんじゃないかな」「この遊びは危ないかも」などと、年長児の立場になりながら、プログラムについて話し合ってきました。また事前に何度もリハーサルを重ね、本番は準備万端で臨みました。

1年生と年長児がペアになって行う自己紹介では、先に1年生がお手本を見せてくれたので、年長児の子供たちも上手に名前や好きなものを話すことができました。次に1年生が手作りした、輪投げ、くじびき、ナイスシュートの3つのコーナーで遊びました。1年生は年長児を楽しませようと、お店の店員のように、「いらっしゃい、いらっしゃい」と呼び込みをしたり、「すごい、上手上手」などと年長児を褒めてあげたりと、いきいきとした表情で活動していました。年長児も、何度も遊びに挑戦して楽しむ様子が見られました。また、算数科の授業体験として、手でつかんだビー玉の数を数える活動も行いました。

参観された柿沢保育所の保育士さんは、1年生が相手のことを考えながら行動したり、少しトラブルがあっても気持ちをすぐに切りかえたりしている姿を見て、この1年間の成長を大変喜んでくださいました。年長児のみなさんも、今回の1年生との交流を通して、入学への期待を高め、安心して入学してくれることを願っています。



裏面も  
あります

## 校内縄跳び大会・解団式

2月21日（水）

数年ぶりに、4団対抗で長縄を用いた8の字跳びを行いました。各団2回ずつ行い、3分間に跳んだ回数で競います。子供たちは、これまでカリヨンタイムを利用して、練習を重ねてきました。大会の前日には、6年生からの呼びかけで昼休みにも練習する団もありました。練習を始めたころは、回っている縄が怖くて縄の中に間を空けずにリズムよく入ることができなかつた子供や、縄の中に入れても跳ぶ位置が分からず縄にひっかかってしまう子供がちらほら見られました。4年生以下は、長縄跳びでの大会は初めてのため、少し不安を感じていた子供が多くいましたが、上級生がタイミングよく背中を押してくれたり、縄を回す速さを加減したりと、心配りしてきたおかげでどんどん上達し、どの子供も大変上手に跳べるようになりました。

本番では、「ハイ、ハイ、ハイ…」という掛け声や「いける、いける、その調子」という応援の声会場に響き渡り、どの子供も真剣にそして笑顔で跳んでいる姿が素敵でした。結果は、赤団が合計518回で優勝しました。優勝できなかった団も、「やり切った」という充実感を感じているようで、各団の絆が一段と深まった大会となりました。

大会に引き続き、団ごとに円になって解団式を行いました。6年生を中心に色団のみんなで頑張ってきた活動を振り返ったり、感謝の言葉を伝えたりしました。今年度の団活動は最後となりましたが、心のつながりや結びつきがいつまでも心に残っていてくれることを願います。



## 避難訓練

2月26日（月）

元日の能登半島地震を受け、授業時の地震の発生に備え、自分の身を守るための3つの動作（まず低く・頭を守り・動かない）を素早く行うこと、災害の発生状況や避難経路、避難場所を把握し、落ち着いて安全に避難することをねらいとして行いました。

子供たちは、みな落ち着いて身を守る行動ができていました。ただ、今回、防火扉が閉まっている場所を避難してみたところ、段差に足を引っかけて転びそうになる子供がいました。実際に激しい揺れがきた場合、天井から落下物があることや、窓ガラスが割れて避難経路に散乱していることも考えられます。そのような場合でも、子供たちが安全に避難できるよう、様々な想定で訓練しておくことが大切であると、改めて感じました。

また、これまで主に登下校の安全のために使用していたヘルメットですが、避難時にも落下物等から頭を守るためにすぐにかぶれるよう、教室内の各自のロッカーの中や上に置くことにしました。今回、子供たちがヘルメットをかぶっている様子を見ると、あごひもが緩んでいたり、頭の大きさに合っていないかったりして、すぐに脱げそうな子供が多く見られました。ご家庭で、頭の大きさに合わせて、あごひも等の調整をしてくださるようお願いいたします。



学校よりはホームページでも見ることができます。配布文書—学校だよりをクリックしてください。

